

# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「SDGs の推進」

提出日 2022年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者  
(統轄部署)学長  
森 康俊  
(総合企画部)

### 1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略 (テーマ名)	統轄部署
8 学校経営	(12) SDGs の推進	総合企画部

#### 内容

2015年の国連サミットにおいて全会一致で決められたSDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) は2030年までに実現すべき17のゴール、169のターゲットからなる国際社会共通の目標である。地球温暖化による気候変動や生物多様性の喪失など地球環境の急速な悪化や格差の拡大等は人類の持続性にかかわる21世紀最大の課題として認識され、ESG (Environment, Society, Governance) 投資の拡大と相まって政府、企業、NGO、機関投資家等が連動しながら中心的な課題として取り組み始めており、大学においても例外ではない。関西学院大学は、「人間と自然の共生、人間と人間の共生」をテーマとした総合政策学部が1995年に開設したのを機に、国連ニューヨーク本部で実践を学ぶ「国連セミナー」(旧国連研修セミナー)、UNHCR 駐日事務所と提携した難民を対象とした入試、国連ボランティア計画と連携した国連ユースボランティア(旧国際学生ボランティア)、国連・国際機関の職員を輩出することを目的とした大学院副専攻「国連・外交コース」の開設など、国連と連携した取り組みを数多く展開してきた。

関西学院は世界各地を巡って医療伝道に生涯を捧げたW.R.ランバス博士をモデルに「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成をミッションとして掲げており、SDGsは学院の教育理念と共通していることから、国際社会とともに取り組みを本格化すべく、企画担当理事の下に「SDGs推進本部」を設置した。また、「関西学院大学SDGs宣言」を制定し、現状に関する検証・マッピングや今後の具体的な行動計画「Mastery for Service' for SDGs Initiatives」を策定し、推進する。

また、国連大学SDG大学連携プラットフォームや、関西SDGsプラットフォーム等に参画し、多様な組織と連携して進める。

加えて、高等部が採択された文部科学省WWL (World Wide Learning) コンソーシアム構築支援事業で「AI活用 for SDGs」をテーマとするなど、学院全体としてもSDGsの理解を深めていく。

#### 【フェーズⅠのTotal Review】

- ・2019年度、SDGs推進本部を設置した。
- ・「関西学院大学SDGs宣言」を行い、国連大学SDG大学プラットフォーム、関西SDGsプラットフォームに参画している。
- ・KSCでのペットボトル削減の取組みに加え、省エネやくるみん認定などに取り組んでいる。
- ・2021年度、NUCの全学科目「SDGsスタディーズ入門」、KSCの総合教育科目「SDGs実践入門」を開講する。

#### 【フェーズⅡに向けた課題】

- ・KSCにおける「サステナブルエネルギーの一大研究拠点の構築」の推進
- ・KSCのサステナブルキャンパス実現への具体策検討
- ・SDGs推進に向けたさらなる具体策の検討

# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「SDGsの推進」

提出日 2022年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者  
(統轄部署)学長  
森 康俊  
(総合企画部)

## 指標 1

指標	内容					
指標名	スクールモットーの浸透度 ※4-(2)「関西学院のアイデンティティ共有」と共通					
定義・算式	① 児童・生徒：学校評価での設問：「スクールモットーの認知度」 ② 学生：共通学生調査（IR1年生調査）の項目「あなたはスクールモットーの意味を説明できますか」の「説明できる」の割合 ③ 教職員：アンケートの開発が必要 ④ IR卒業生、卒業1年目調査における設問「スクールモットーを普段意識する程度は？」の「常に行動の規範としている」の割合*2019年より回答項目変更「常に意識している」					
現状値 (指標設定時)	① 児童・生徒：設問なし、②学生：24.4%、③教職員：－、④卒業生：－					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	－		－		① 児童・生徒：100% ② 学生：80% ③ 教職員：100% ④ 卒業生：60%	
実績値	2019年度	①90.5% ②37.6% ③－ ④－	2022年度		2025年度	
	2020年度	①92.8% ②35.6% ③－ ④－	2023年度		2026年度	
	2021年度	①80.96% ②39.26% ③－ ④－	2024年度		2027年度	

## 指標 2

指標	内容					
指標名	本学のイメージ（高校生、高校教員） ※8-(11)ブランド戦略と一部共通					
定義・算式	1. リクルート社カレッジマネジメント「ブランドイメージ調査」の特定3項目（社会で役立つ力が身につく、国際的なセンスが身につく、先進的な）において関関同立でトップの項目数 2. 大学通信による、全国の進路指導高校教員に聞いた「グローバル教育に力を入れている」における順位					
現状値 (指標設定時)	1. 0個 2. 7位(2016年)					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	N/A(現状程度)		1. 2項目 2. 6位		1. 3項目 2. 6位	
実績値	2019年度	1. 0個 2. 10位	2022年度		2025年度	
	2020年度	1. 0個 2. 10位	2023年度		2026年度	
	2021年度	1. 0個 2. コロナ禍のため当該項目の調査は実施されず	2024年度		2027年度	

# I. 長期戦略テーマ別帳票 テーマ「SDGs の推進」

提出日 2022年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学長 森 康俊 (総合企画部)
-----------------------	-----------------------

## 2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究科での 取組み有/無	帳票の 有無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	SDGsに関する取組の発信(統括分野)	総合企画部	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
②	SDGsの推進(教育分野)	国際連携機構	必要⇒【選択型】 (学部・研究科が任意で取組みを選択)	無	3年間			3年間			3年間		
③	SDGsの推進(研究分野)	研究推進社会連携機構	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
④	SDGsの推進(経営分野)	総務部	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
⑤	SDGsの推進(KSC分野)	神戸三田キャンパス事務室	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
<p>【備考欄】</p> <p>SDGs に対する本学学生の関心を高め、学生の活発的に取組を促すこと、学生や学生団体等の個別の SDGs の取組みを融合・連携させることでソーシャルインパクトを高めること、他大学や自治体、企業などとも連携し、本学の活動や取組みを学内外に展開すること、本学の取組の発信などを目的とし、SDGs 推進に向けて関心の高い学生を組織化しプラットフォームを形成する。学生プラットフォームは SDGs 推進本部と連携する学生組織として位置づけ、学生の活動内容の把握や支援、SDGs WEEK の開催等大学として総合的に活動を支援する。</p> <p>なお、SDGs への積極的な取組みが求められる昨今の社会状況の中、本学の SDGs の取組みをいっそう促進するとともに、本学の教育・研究・学生の主体的な活動における情報を収集し戦略的に発信し本学のブランド価値を高めるため、また、「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学コアリション」等の新たな取組を推進するため、担当の副学長を定め、専任となる学長補佐を配置するとともに事務局体制も整備し、総合企画部に専任職員、契約職員各1名を配置する。(なお、契約職員については8-(12)-② SDGs の推進(教育分野)で計上している職員を総合企画部に配置する。)</p>													

※想定される実施計画の例示

- ① SDGs に関する取組の発信(統括分野)
- ② SDGs の推進(教育分野)
- ③ SDGs の推進(研究分野)
- ④ SDGs の推進(経営分野)
- ⑤ SDGs の推進(KSC 分野)

※ロードマップ策定作業用記号

# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「SDGs の推進」

提出日 2022年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学長 森 康俊 (総合企画部)
-----------------------	-----------------------

### 3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019年度～2027年度)

#### ◆フェーズⅠ：2019年度～2021年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019年度	2020年度	2021年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

#### ◆フェーズⅡ：2022年度～2024年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022年度	2023年度	2024年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

#### ◆フェーズⅢ：2025年度～2027年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025年度	2026年度	2027年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

# I. 長期戦略テーマ別帳票

## テーマ「SDGsの推進」

提出日 2022年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学長 森 康俊 (総合企画部)
-----------------------	-----------------------

### 4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性												
2019年度	①東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学」第1版を発行し、好評を得た。 ②「(仮称) SDGs スタディーズ」新設へ向けた検討を行った。 ③研究者DBにおいて、各研究テーマとSDGs17のゴールとの関連性とを明示するとともに、検索機能を改修した。 ④子育てサポート企業「くるみん認定」を受けた。 ⑤ごみ排出量減少のための「オリジナルマイボトル」の具現化に向けた検討を行った。												
2020年度	①統括部門 東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学」第2版を発行し、好評を得た。 ①統括部門 SDG 大学連携プラットフォーム、関西 SDGs プラットフォーム大学分科会、内閣府地方創成 SDGs 連携プラットフォームに参画し、本学のSDGsへの取組発信や情報収集を行った。 ②教育部門 「SDGs スタディーズ入門」新設へ向けた具体的な検討・調整を行った。 ③経営部門 「第1回 日経大阪梅田エリア SDGs フェスティバル」に参加し本学の取組を発信した。 ④研究部門 「研究者データベース」の情報登録者数割合実績：19.8% SDGs Ideathon等の開催 ⑤KSC部門 企業と連携した「オリジナルマイボトル」の開発やBiZCAFE設置等を行った。												
2021年度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【部門】</th> <th>【成果（一部抜粋）】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>統括部門</td> <td>                             ・東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学」第3弾を発行し、好評を得た。                              ・2021年12月に、KG SDGs キャンパスサポーターを立ち上げ、キックオフイベントを行った。また、ホームページ（<a href="http://kg-sdgs.com/">http://kg-sdgs.com/</a>）を開設し、情報発信を開始した。                         </td> </tr> <tr> <td>教育部門</td> <td>                             ・授業科目「SDGs スタディーズ入門」を開講した（履修者数695名）。                         </td> </tr> <tr> <td>経営部門</td> <td>                             ・研究者研究活動支援者（ピンチヒッター）制度を男性の育児者にも拡大して運用を開始した。                              ・外部業者を活用して農園の運営を安定させ、障がい者の法定雇用率を上回る数値を達成した。                         </td> </tr> <tr> <td>研究部門</td> <td>                             ・イノベーションジャパンにオンライン出展し、500件を超えるアクセスを得た。                              ・手話学コロキウム（全4回）をオンライン開催し、計200名を超える参加者が集まった。                         </td> </tr> <tr> <td>KSC部門</td> <td>                             ・アカデミックcommons・プロジェクトにおいて、「SDGs・タイプ」のプロジェクトを15件採択した。                              ・KSCの学生限定オリジナルマイボトルを2,540本販売した。                         </td> </tr> </tbody> </table>	【部門】	【成果（一部抜粋）】	統括部門	・東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学」第3弾を発行し、好評を得た。 ・2021年12月に、KG SDGs キャンパスサポーターを立ち上げ、キックオフイベントを行った。また、ホームページ（ <a href="http://kg-sdgs.com/">http://kg-sdgs.com/</a> ）を開設し、情報発信を開始した。	教育部門	・授業科目「SDGs スタディーズ入門」を開講した（履修者数695名）。	経営部門	・研究者研究活動支援者（ピンチヒッター）制度を男性の育児者にも拡大して運用を開始した。 ・外部業者を活用して農園の運営を安定させ、障がい者の法定雇用率を上回る数値を達成した。	研究部門	・イノベーションジャパンにオンライン出展し、500件を超えるアクセスを得た。 ・手話学コロキウム（全4回）をオンライン開催し、計200名を超える参加者が集まった。	KSC部門	・アカデミックcommons・プロジェクトにおいて、「SDGs・タイプ」のプロジェクトを15件採択した。 ・KSCの学生限定オリジナルマイボトルを2,540本販売した。
	【部門】	【成果（一部抜粋）】											
	統括部門	・東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学」第3弾を発行し、好評を得た。 ・2021年12月に、KG SDGs キャンパスサポーターを立ち上げ、キックオフイベントを行った。また、ホームページ（ <a href="http://kg-sdgs.com/">http://kg-sdgs.com/</a> ）を開設し、情報発信を開始した。											
	教育部門	・授業科目「SDGs スタディーズ入門」を開講した（履修者数695名）。											
	経営部門	・研究者研究活動支援者（ピンチヒッター）制度を男性の育児者にも拡大して運用を開始した。 ・外部業者を活用して農園の運営を安定させ、障がい者の法定雇用率を上回る数値を達成した。											
研究部門	・イノベーションジャパンにオンライン出展し、500件を超えるアクセスを得た。 ・手話学コロキウム（全4回）をオンライン開催し、計200名を超える参加者が集まった。												
KSC部門	・アカデミックcommons・プロジェクトにおいて、「SDGs・タイプ」のプロジェクトを15件採択した。 ・KSCの学生限定オリジナルマイボトルを2,540本販売した。												
2022年度													
2023年度													
2024年度													
2025年度													
2026年度													
2027年度													